

# 笠間市立 友部第二中学校



- ◆校長 玉瀧 智巳
- ◆生徒数 346人
- ◆創立 1987年
- ◆住所 笠間市旭町 510の1

こいのぼりをくぐって登校する生徒たち



わが校  
独自  
オンライン

## 季節を楽しむ飾り付け



友部第二中学校は、年中行事や季節に合わせて、鮮やかで心寄せになる環境になります。こどもの日が近づくと、私たちの成長を祈るために中庭にたくさんの大きなこいのぼりが飾られます。このこいのぼりは、席によっては教室の窓から見る事ができるので、授業中や休み時間のちょっとした息抜きにもなっています。

七夕のときは、廊下に短冊とペンが設置されます。そして、みんなが自由に書いた色とりどりの願い事の短冊が、昇降口に飾られます。短冊には、志望校の合格や恋の成就などの中学生らしい願いがたくさん書かれています。そのほかにも、3年生の卒業が近づくと、ペーパーフラワーや色画用紙で作製した桜の木が飾られたり、秋には移動図書館が設置されたりと、とても季節を楽しむことができます。(3年 鷲木陽菜)



校舎(じゅうや)



昇降口(じょうりぐち)

どんな学校です!



5年ぶりに開催(かぎらい)した「全校体育祭」

## 体育祭復活、盛り上がる



私たちの通う笠間市立友部第二中学校は、「走転泣笑～咲き誇れ346輪のがむしゃら青春物語～」を学校スローガンに掲げ、生徒主体で学校生活を過ごしています。その中心を担っているのが生徒会です。

生徒会では、年に2回行われる「小中合同あいさつ運動」への参加や「校則の見直し」などの活動をしています。そして本年度は、多くの生徒の意見が反映され、全校

生徒での体育祭が復活しました。夏休み前から競技内容についての話し合いを重ね、各クラスでTシャツを作りました。本番当日は天気にも恵まれ、カラフルなTシャツで彩られたグラウンドは、華やかな声と、たくさんの応援に包まれました。中でも新たに加わった「部活動対抗リレー」は個性あふれた演出で盛り上がりを見せました。ほかにも、チャレンジタイムや英語・数学ゼミなど、生徒自ら考え、行動する機会が多くあるので、自主性が育つ学校です。(3年 佐藤心瑠)



先生たちと「英語の強化ゼミ」

がんばります!

## 「強化ゼミ」で基礎固め



私たちの学校では希望する生徒を対象として、「数学や英語の強化ゼミ」が開かれています。ゼミは少人数教室を利用し、チャレンジタイムの時間に行います。友達と協力し合いながら楽しく学習に取り組むことができます。問題プリントが準備されているため、その場で解くだけでなく、自宅に持ち帰り、自分のペースで解くこともできます。自分が納得いくまで考え、繰り返し解くことができるため、自分の学力向上につながっています。

各教科の先生方が、一人一人の学力に合わせて、丁寧にご指導して下さるため、本当によく理解することができます。特に、授業だけではよく分からなかった内容をじっくりと復習することができるので、基礎基本が定着しました。これが友部二中自慢の「基礎基本を固めるゼミ」です。(3年 持丸信乃)

## ▶生徒主体の活動



集中して学習に励(はげ)む生徒たち

## 20分間、自学自習の時間



友部第二中学校には、「チャレンジタイム」という時間があります。チャレンジタイムとは、本年度から始まった自分で学びを深めるための20分間の自学自習の時間で、水曜日以外の5・6校時の後に行われています。

チャレンジタイムを活用し、授業の予習復習をしたり、ワークを進めたりなど、自分の学習を自分のペースで進めることができますので、日々の学習にとっても役立てることができています。

苦手教科の復習や、定期テスト対策、受験勉強に取り組む生徒もいます。また、20分間と短時間のため、集中して取り組むことができ、1日の勉強時間を増やすことにもつながります。このように友部二中の生徒は、チャレンジタイムの時間を有効に使い、一人一人が自分の夢や目標に向かって、意欲的に学んでいます。(3年 安齋伊織)